

1月の行事予定

日	曜	行 事 内 容
4 日	(日)	消防出初式（谷一小校庭）
5 日	(月)	仕事始めの式（10:00）大会議室
7 日	(水)	共通第一次試験全体会議 法律相談（1:00～3:00）第一会議室
8 日	(木)	市民スケート教室（富士急・ハイランド）雨天の場合9日
10 日	(土)	共通第一次試験（～11日）文科大学 特編転出願受付（～15日）
12 日	(月)	都留文科大学授業再開
13 日	(火)	へき地巡回歯科診療（盛里）～14日 退任民生委員感謝状贈呈
14 日	(水)	都留文科大学教授会 不用犬・猫の巡回収集
15 日	(木)	成人式（文化会館）

日	曜	行 事 内 容
16 日	(金)	新春経済講演会（講師・松田修）文化会館（1:00～3:00） 発明相談（10:00～3:00）第一会議室
20 日	(火)	社会保険（厚生年金）出張相談（市民課） 人権相談（1:00～3:00）第一会議室 行政相談（1:00～3:00）宝出張所
22 日	(木)	結核レントゲン（第2次）検診～23日
23 日	(金)	知事と市長会との懇談会（5:00）甲府市
25 日	(日)	特・編転入学試験
28 日	(水)	特・編転入合格者決定教授会
29 日	(木)	特・編転入合格発表
30 日	(金)	山梨県援護関係事務巡回相談（市役所）



有限化された資源を大切にしている運動が展開されている。昨今何の変てつもない老朽木の根などを活用して動物細工に取り組んで話題を集めている人がいます。この人は、十日市場に住む高橋儀男さん（七十七歳）で、枯れ木の根株をヒツジやサルトリなどに見立てて、十二支の動物細工を制作しています。高橋さんの動物の置物づくりは、まず根株を集めることから始まります。友人などと市内のあちこちの山を歩き回り、これといった木の根を探しては持ち帰ってきたり、またあるときは知人から枯れた盆栽を



伝えるたい！ 趣味を持つ楽しみを

ふるさとづくりコーナー

譲り受けたりして集めるそうです。健脚自慢の高橋さんは、三ツ峠、御正体山など市を取りまいている山々をほとんど歩き尽してきました。気に入った根っこをみつけると、「これは鶯がうさぎをねらっているところ、これは鶴が湿出でどじょうを喰んでいるところ」と想像は次々に広がります。置物づくりの手順は、まず老朽木の腐った部分を削り、ノミで頭、角、くちばしを彫り上げます。つぎに着色料で動物に合わせた色づけをします。そして最後につや出しをして完成ということになります。このつや出しが一番時間を要します。豆腐のおからやクルミの実をすりつぶし、ボロボロになるまでみがくわけですが、毎晩夜更けまで、時間のたつのも忘れて精根を傾けます。高橋さんの自宅には、十二支のほか、ラクダ、ゾウ、キリン、シヤモなど色々な木を使った作品



が五十点あまり、ズラリとならんでいます。特に鶴の置物は数年前、高齢者作品展で知事賞を受賞したほどの、みごとな仕上りのものです。小学校時代から動物の絵を描くことが得意で、また宏道流盛花の教授ということもあって、構成がしっかりしていて、置物にじっくり見入っていると、今にも動き出すような気がしてきます。永きに渡って板金業を営んでき高橋さんは、郡内地区の神社仏閣の屋根棟の飾りものや角木の鼻の装飾などでも、その方面では知人を知名工でした。現在は息子さんが家督を継ぎ、余裕が出たので、付近の野山で老朽木を探し回る一方、知人に頼まれた大作に取り組んだりして、充実した日々を過ごしています。「年をとると、なにか趣味を持つていないと、ふけるのが早くなる。趣味をもっていない老人が多く見受けられるが、私のこの道楽でもよければ、教えてやりたい気がする。」と高齢者対策の一助も考える高橋さんです。ふるさとの野山を駆け巡る動物たちの姿を、あなたも床の間に飾ってみてはいかがでしょうか。